

令和5年度第2回吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和5年9月9日(土) 午前 9:00から吞吐ダム(桜並木「水土里の路」公園保全の草刈り)で行われた東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の吞吐ダム桜並木「美土里の路」公園管理作業に88名(うち会員65名)参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と、水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足し、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。閉会にあたって実行委員会の会長である水土里ネット東播用水の理事長から、「ダム堆砂土の浚渫場所であったこの場所を交流の場として再生するため、当時の国や県等の担当と議論して今の桜並木になった。」と経緯の紹介がありました。気候変動による異常気象が毎年のように発生しているなか、ダム等の水源施設は利水だけでなく流域治水の役割も担っています。来春も桜並木が満開となることを祈念しています。

